

## 第2回設置検討会議後に各団体が実施した意見交換における意見等

- 1 湯来東小学校 PTA
- 2 湯来南保育園保護者会

湯来東小 PTA 代表  
小松 瞳

## 湯来地域における小中一貫教育校設置検討会議 第 2 回会議についての湯来東小学校保護者の意見・質問

### 【1:今後のスケジュールについて】

当初の目標通り 2023 年 9 月の取りまとめを目指すか、次年度以降に後ろ倒しにしても良いか聞いてみたところ  
どちらの意見も半々でした。ただ、どちらの意見も無理に期限を守るよりは一年ほどであれば納得のいく会議の内容である方が望ましいという内容がほとんどという結果でした。遅くとも 2024 年 9 月までには結論を望みます。

昨年度の会議でも、合併の在り方だけを話し合っていたのではなく「どのような学校が良いか」という点も議論があがっていたので、そのときの意見も踏まえてゆけば「湯来にあるべき教育が何か」の目線合わせはゼロからのスタートではなく、会議の内容も分かりやすく進めていけるのではないかと考えています。

### 【2:一貫校の設置をまず、西小・東小が統合を行う事】

回答のあったすべての世帯が賛成しています。(12/15 世帯)

・西小保護者の方の希望に沿い、できるだけ早く実現されること、通学については水内上から下までバスで安心して通学できることを望んでいます。

### 【3:是非、湯来東小学校にも視察にきてください】

様々な学校の取り組み例を会議資料として見せていただきましたが、読んでいるうちに「湯来東小学校の日常そのもので、質の高い教育を頂いていると感じたので、資料を作成しました。「保護者から見た学校生活・PTA 活動」です。一人の先生が二学年を同時進行で教える複式授業は、児童が自ら学習するスキルなしには成り立ちません。一貫校になり、複式ではなくなったとしても、複式スタイルの授業を取り入れるなど、すでに湯来町内で行われていることであれば実践しやすいのではないかと考えました。また、田楽や PTA 活動を通しての地域との密着度はひよっとしたら広島市のなかでも No.1 と言っても過言ではないのではないかと感じています。地域の方に大変お世話になっています。

昨年度からの保護者の意見(アンケート)を総合してみて、現在のよい取組を続けて欲しいという声は常に上がっています。校長にも了承をいただいていますので、先日の戸山視察のような形でも、湯来東小に視察に来てください。

湯来町でしかできない教育のサンプルが湯来東小にあります。

※湯来東小学校の日常をつづった学校オフィシャルブログも様子が良くわかるのでお勧めです。

### 【質問 1:広島市として実現可能なプランの幅を教えてください】

住民の意向を聞いていただくことはとても大切で、声を上げる機会をいただいていると感謝しています。ただ、広島市民として、無限の税金でどのような学校の設置でも可能ではないということも理解しています。6 から 7 年後に、実際に新設可能な学校の規模を示していただければ、会議もスムーズに進んでいくと思います。

昨年度の会議と違い、行政の方も構成員として参加して下さっているので、積極的かつ具体的にできること、できないことを提示していただきたいと思います。

### 【質問 2:第 2 回会議で配布された資料について】

資料 1、p.7(設置場所に関する事)の、湯来庭球場・運動広場について、敷地一部が土砂災害特別警戒区域ということ、候補地にはなり得ないということでしょうか？それとも、広い敷地の一部ということで、候補地になり得ると考えても良いのでしょうか？

保護者からみた

## 湯来東小学校の学校生活

### 異年齢による活動が日常

- ・休憩時間の遊びも少人数なので学年は関係なし。低学年は懂れを、高学年は思いやりが身についています。

### チャイムはありません

- ・時計を見て行動している。
- ・下校の時刻は、委員会で児童が放送でお知らせする。

### 完全複式が根付いている

- ・高学年になるほど、自力で授業を進める感覚が身についている。
- ・進行（仲間の進み具合も見ながら）、教え合いができる。
- ・発表も全員するのが当たり前。自主性が備わってゆく。

### 委員会活動

- ・3年生から始まる委員会活動は、少人数というところもあり年度が半分も過ぎる頃になると3年生もリーダー格の活躍ができています。
- ・自分たちで考えて行う喜びを知るきっかけになっているように見える。

### ICTを使用した授業が進んでいる

- ・令和4年度4月から、手元のタブレットと大きなスクリーンを連動させた授業が高学年では日常的に行われている。
- ・各自が作成した資料などを共有するなど基本操作が普通にできるようになった。
- ・西小との合同オンライン授業も頻繁に行われ、ICTを活用した授業の先進事例としてリモート授業の様子を広島市の教育委員会から視察にいられました。（西小さんに）
- ・令和5年度以降、オンライン交流授業を県外、海外に広げていく計画である！
- ・地域の方（卒業生）が開発中の草刈ロボ犬を飼育する計画がある。（飼育委員を新設するかもしれない）

### 田楽

- ・入学時は踊りから始め、唄、笛、指揮、太鼓の役割を年間を通して練習する。
- ・役割は、高学年から低学年へ引き継ぎが行われ、児童同士で学ぶ。
- ・田植えは田楽フェスティバル、収穫までの管理は**地域の方**、収穫したもち米で行うもちつき大会も**地域の方**と行い、学校・地域のつながりがとても密。
- ・1985年から続く**地域遺産の継承活動**
- ・第22回広島ユネスコ活動激励賞を受賞(2020年1月)

### 学校前の水内川が最高の教材

- ・学校のすぐ前の水内川に、理科や生活など様々な目的で行っている。
- ・漁協のご厚意で「あゆの放流」も毎年体験している。
- ・令和5年度は、カヌーなどの川での活動がさらに盛り込まれる予定。
- ・昭和の時代には木材を運搬していた川なので、歴史、産業、文化、環境問題への学びを深める最高の教材だと考えられる。

### 放課後児童クラブ

- ・学童ではないので、利用条件はなし。
- ・夕方17:30まで過ごすことができる。
- ・宿題をする、漫画を読む、工作をする、校庭で友達と遊ぶなどして過ごす。
- ・**地域の方がスタッフ**として活躍してくださり成り立っている。
- ・夏、冬、春休みにもお弁当持参で参加することができる。

### 先生と保護者の信頼関係

- ・学年によっては、非常に面白い学級通信が度々発行され、読みごたえも非常に濃厚なこともある。先生と保護者の信頼関係によって、学校が心地よいものになっている。
- ・湯来東小学校のブログも大変面白いので是非ごらんください！

保護者からみた

## 湯来東小学校のPTA活動 (令和4年度)

### 15世帯なので、基本全員役員

・義務ではなく、保護者同士の交流の場として楽しく活動できています。

### 夏休みの開放プール

・コロナ以降、初めての開放プールということで、先生も是非やりましようと言ってくんだり、保護者+地域のベテラン+若者で監視員講習を受け実施することができました。監視員は大変ですが、当番や義務などではなく、できる人員がそろう日程で行い、地域の方にも大変お世話になりました。広島市では開放プールを実施しなかった学校が大半だったようなので、私たちはやっただぞ！という気持ちにも少しなれました。

・毎回、12人前後の子供たちが楽しくはしゃぐ姿を見る事ができ、来年度も開放したいと思っています。

### PTAソフトバレー

・希望者が一定数いたので、ソフトバレーも再開しました。基本的には金曜の19時から21時に練習を行っています。

試合に出るには微妙な人数であること、今年度の大会の条件がコロナ対応で子連れではいけないことなどから大会への出場はしませんでした。楽しく活動しています。

金曜の夕方の練習への参加が難しい家庭もあり、月に一度ほど休日の午後に体育館を開放し、東小保護者に限らず、地域の親子、若者、転出した仲間がロコモで集まり遊んだり、バレーをしたり楽しんで過ごす“地域の場”になります。

保護者が楽しむことで、自然と学校や地域とのつながりができていくことを実感できるPTA活動になっていると感じています

### ベルマーク活動

・世帯数の減少とともに、参観日ついででのベルマーク活動は難しくなりました。時間の取れる人で無理なく、おしやりついでに時々やってみるという実証実験中。やめる予定は今のところなさそうです。

### ふるさと祭り=文化祭

・学校単体での文化祭からふるさと祭りでの発表に移行しています。東小学校前の「農村改善センター」で行われるふるさと祭りの実行委員もベテランの方が多く、年々運営が大変になっているところで、地域の若手である東小保護者が準備、片付けに参加することを意識しています。

地域のみなさまにも子供たちの頑張りを見ていただけたらいい機会となっています。

### もちつき大会

・田楽から始まり、収穫を終えたもち米で行うもちつき大会です。シニアクラブの方にはもち米の蒸し具合、もち切り、もち丸めなど熟練の技を子供たちにも、保護者達にも教えていただき、毎年おいしく、楽しいな地域交流事業となっています。

### PTA活動

・南小さんのように児童数も世帯数もないので、学年ごとの活動はとくに行っていません。

防災ベンチが5年ほど前に設置されてから一度も使用していませんので、使ってみたいと思いい立ち、ついでに南・西小さんもお招待の「あそぼうの会」を1月に開催してみました。防災ベンチの使い方がわかり、良かったです。基本的にはお湯を沸かしただけ（飯ごう持参で炊き込みご飯を作ってくれた保護者もいました）だったので、来年度は具を持ち寄ってなにか煮て楽しむイベントが開催できれば良いと願っています。

・前例のない取組にも、快く「どーぞ どーぞ」と言ってくださる校長先生に感謝です。

2023年3月9日  
 湯来南保育園保護者会 会長  
 坂井 公子

### 第3回 湯来地域における小中一貫教育校設置検討会議に向けて

湯来南保育園保護者会 意見取りまとめ

テーマ「学校の地域コミュニティの核としての在り方」について

■5年後にこの小中一貫校が完成し第1期生が入学した場合、この第1期生が卒業するのが2037年で14年後になる。湯来町の人口や年齢分布を考えるとしっかりと地域コミュニティの中に学校が機能していないとこれまで受け継がれてきた伝統や技術、食、農、文化が途絶えてしまうと感じる。

■基本的な学力は必要だと思うが、湯来で学べる生徒はそれプラス自然から学んだり、地域の人と関わりながら学校の中だけではないコミュニティの中での経験をすることで多角的な考えを育むこともできると思う。

例えばクラブや〇〇学習で好きなものを選んでコミュニティに入り、プロに近くなる等。

- ・湯来歴史クラブ
- ・湯来東田楽クラブ
- ・神楽クラブ
- ・焚き火学会クラブ
- ・炭クラブ
- ・鮎クラブ
- ・湯来の食と農クラブ
- ・ジビエクラブ
- ・林業クラブ
- ・アクティブスポーツクラブ
- ・温泉クラブ
- ・和太鼓クラブ
- ・酪農クラブ
- ・乳加工品クラブ
- ・オオサンショウウオクラブ

地域の方も子どもたちに教え、伝えることにより元気になり、子どもたちの新しい考えが刺激になり、活性化し、伝統や文化を守りつつ、キラリと光るものになって、湯来への求心力になると思う。

■自然から学ぶというのは、小中学生だけではない。

どの年齢の方も共通していることと思う。

授業で「自然を学ぶ」のではなく、常に自然を感じる環境に身をおいて、そこで何かを感じていることが記憶に残る学びだと思う。そこは居て気持ちいい場所なので、人も自然と集まってくると思う。そういう校舎づくりも必要だと思う。湯来の木材を使ったり、湯来

の自然エネルギー（水・太陽 等）を利用してゼロ・エネルギーの学校づくりが出来れば、これからの湯来地域にとって資源の再確認と新たな発見になると思う。

■「木を大切にすることから自分のことも大切にしようと思った」

「大きくなったら人の役に立ちたいと思う」

このような気持ちが育まれる学校になるといいなと思う。

■小中で一貫したクラブ活動を取り入れ、出来れば、大学の推薦入試にも使えるものだと注目されると思う。

■湯来の学校は学力の定着が低いというデータがあるので、学力の定着ができるための環境づくりも必要だと思う。